

# 途切れることのない海流エネルギーで発電 奇抜なアイデアで田辺高V

グローバル・エンタープライズ・チャレンジ 2008 国内予選

## 22、23日豪での国際大会へ

「途切れることのない海流エネルギーで発電する」。奇抜なアイデアで審査員たちをうならせた府立田辺高(京田辺市)の生徒5人が、起業家精神で課題の解決を競う「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ2008」の国内予選に優勝した。オーストラリア・シドニーで22、23両日に開かれる国際大会に出場する。

【玉置勝巳】



「のぼるくん」の構造図などを示す田辺高チームのメンバーたち  
—京田辺市の府立田辺高校で、玉置勝巳撮影

このイベントは、青少年の科学技術への関心を高める目的でスコットランドの行政機関が主催。国内予選に勝ち残ったチームは、NASA(アメリカ航空宇宙局)の技術科学者からの課題に24時間以内に英語で答えなければならぬ。

5人は、同高工業技術科代表の林貞弘さん(17)▽前畑宏行さん(16)▽山下喜生さん(17)▽吉井将真さん(16)▽中野正康さん(17)いずれも2年。先月31日、京都ひとまち交流館(下京区)で開催された国内予選に参加し、制限時間5時間、「持続可能な社会づくりのためにエネルギー問題为解决する製品企画」との課題を与えられた。

考え抜いた結果、海流のエネルギーによる発電システム製品「のぼるくん」のビジネスプランを提案。ファン

5基を内蔵したこのほり型発電機を海に沈め、海流の力でファンを回して電気を起こすという内容だ。

企業の技術者や大学教授などの審査員たちから「大人では思いつかない素晴らしい発想」「うちの会社で、このアイデアを実現してみたい」などと声が上がリ、近畿から参加した6チームを抑えて日本代表に輝いた。同高リーダ格の中野さんは「優勝できるとは思っていなかった」と大喜び。「今は英語の特訓に頑張っている」と意欲満々だ。